

市民への意識醸成に関するスケジュール

2021年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	3月	4月～
	○ガイドライン配布			①SNS開設		○インターネットアンケート実施(※)							○広報さっぽろ掲載(※)		
				②キャッチコピー決定		②ロゴマーク決定(※)		③パネル展開催							

※ 時期や内容は変更の可能性あり

①SNSの開設 (A)

○目的

若者を中心に、協議会に関する情報や札幌市の火葬場・墓地の問題など、葬送に関する情報提供を継続的に行うために設置

札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会のtwitter

○TwitterのURL

https://twitter.com/sapporo_arikata



○掲載内容

- ・協議会の実施状況
- ・札幌市の火葬場・墓地の現状、取組内容
- ・札幌の火葬場・墓地に関するイベント
- ・協議会メンバーの紹介 など

○直近の掲載及び今後の予定

更新時期	題 目
令和3年4月	札幌市の葬送を取り巻く状況 札幌市の現状①(人口ピラミッド)
同年5月	札幌市の現状②(高齢単身世帯)
同年6月	札幌市の現状③(火葬場)
同年7月	札幌市の現状④(墓地)

※ その他、協議会や葬送に関するイベント等を掲載する。

②キャッチコピー・ロゴマーク (A)

○目的

協議会が行う取組等に関する情報を広く周知するため、普及啓発ツールとしてキャッチコピー入りのロゴマークを作成(協議会が行う普及啓発に使用し、一連のものとして見せていく。)

キャッチコピーの決定

○キャッチコピー

「葬送を考えるまち・さっぽろ」

①～③の観点を踏まえ、委員の投票により決定

- ① 葬送など今回取扱うテーマが入っている。
- ② さっぽろという言葉が入っている。
- ③ 前向きな表現になっている。

ロゴマークの作成

○ロゴマーク作成にあたって

「葬送を考えるまち・さっぽろ」を入れた、親しみやすいデザインで作成

○作成依頼

札幌市立大学へ地域産学連携という位置づけで作成を依頼(学生へ案の募集を行った。)

○決定までのスケジュール

- 6月上旬 札幌市立大学から案の提示(10案)
- 6月中旬 事務局にて案の絞り込み(6案)
- 7月上旬 協議会委員等の投票により決定

<協議事項>

- ① ロゴマークの選定

③パネル展の開催 (A、B)

○目的

様々な年齢層を対象に、協議会に関する情報や札幌市の火葬場・墓地の問題など、葬送に関する情報提供を行うためにパネル展を行う。また、市民ニーズを把握するためのアンケート実施も併せて行う。

日時・場所

日時: 令和3年9月9日(木)～9月12日(日) 11:00～17:00
 場所: 札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ) 北大通交差点広場(東)
 主催: 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会
 後援: 札幌市、NPO法人葬送を考える市民の会、北海道葬祭業協同組合

具体的な内容

○パネル展の内容

- ・札幌市の火葬場・墓地等が抱える問題(札幌が抱える少子高齢化、火葬件数の増加)
- ・市営霊園・墓地の歴史と移り変わり
- ・火葬場の取組、墓地の取組
- ・葬送に係る一般的な内容



○その他のイベント

<一般相談窓口> (NPO法人葬送を考える市民の会、北海道葬祭業協同組合、協議会委員)
 終活など葬送関係全般に関する相談窓口(オンライン)

<市営霊園相談窓口> (札幌市)
 墓の相続、墓じまい等、お墓に関する手続きの相談窓口(オンライン)

<棺・骨壺展示> (北海道葬祭業協同組合)
 実際に入る棺を展示

<旅立ちの衣装展示> (葬送を考える市民の会)
 和服からリフォームして作る旅立ちの衣装(死に装束)を展示

<アンケート実施> (協議会委員)
 今後の意識醸成の取組に繋げるためのアンケート調査を実施

※ 感染状況を考慮し、上記内容について今後変更する可能性あり

<協議事項>

- ② パネル展実施内容に対する御意見
- ③ 協議会委員の参加の仕方

<葬送を考える市民の会のパネル展示>
 (2019年、チ・カ・ホ憩いの空間にて)

